

平成30年第1回田布施町議会定例会一般質問通告一覧表

質問者1 瀬石 公夫

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 県道改良工事の進捗状況について	<p>県道光・上関線の瀬戸地区の新設バイパスは現在観音橋から東に工事が僅かに進んでいる。現在の県道は田布施川に沿って走り、道路沿いには住宅が立ち並び、光市、柳井市、平生町への通過道路として交通量が大変多くそのうえ通学路で歩道もなく危険である。また、この区域の農地には道路が狭小で大型農機具や普通車が入れず農地の管理、運搬等に支障をきたしている。こうしたことで、平成14年3月1日に地域代表者の署名を添えて要望書を提出し工事が開始された経緯があり、早期の完成を望んでいるが供用開始は何時ごろになるのか。</p> <p>また、県道光・柳井線の竹重、奈良、矢蔵地区の改良工事の計画があるが、この道路は交通量が多く通学道でもあり、狭小で歩道がなく危険である。また、南周防大橋、田布施・平生合同斎場方面から周南広域農道を通り、この県道との交差点は2012年に死亡事故が1件発生。2013、2014、2015年には軽傷事故が毎年1件ずつ起きており地元から信号機設置の要望を行ったが、公安委員会との協議で困難となっている。県道の付け替え、拡幅工事により歩道を設置し、見通しを良くする事で安全性が高まると思うが、今後の進捗状況を尋ねる。</p>	町長
2. 町内の情報化の推進について	<p>町内では、民間によるアパート経営や新しい住宅団地の開発により、若者の世帯が増え県内では人口減が少なく推移しており喜ばしい事であるが、人口減少は続いており、なお一層の若者定住化を進めなくてはならないと思う。</p> <p>こうした、若い世代の方々から山口県内では山陽小野田市と田布施町だけケーブルテレビが無く、転入前には観れていたテレビが映らなくなった。ケーブルテレビを設置して欲しいと要望が多くある。</p> <p>また、光ファイバー回線が来ていない地域が町内には有り、住民の方々から高速ブロードバンドの早期の充実を望む声をよく聞く、簡単なアクセスで膨大な資料、情報が取り寄せられるインターネットの普及は住民生活の向上に無くてはならないものと思う。そこで、次の2点について尋ねる。</p> <p>① ケーブルテレビ事業者が収益の見込める地域には進出したいとの意向があるが、事業者に調査をしてもらってはどうか。</p> <p>② 町内の光ファイバー回線の未実施地域はどの地域か、またその未実施地域の解消はどのような計画で行なわれるのか。</p>	町長
3. 平成30年度の介護保険料について	<p>介護保険料は、3年毎に3年間の計画を策定し、介護保険料が算定されることとなっており、平成29年度までの3年間の基準額は年額56,800円であった。</p> <p>これまでは、県内で低い位置であったと思うが、来年度からの介護保険料は大幅に上昇する見込みであるという。平成27年の法改正により、介護予防事業は、介護予防・日常生活支援総合事業に見直しが行われ、介護予防対策の取り組みが重要となっている。高齢化の進展により、介護給付費は増加するが、町が介護予防対策の効果的な取り組みを行うことにより、介護給付費を抑制することができる。そこで、町長に次のことを尋ねる。</p> <p>① 来年度からの介護保険料はどうなるのか。また、大幅に上昇した要因は何か。</p>	町長

	<p>② 介護予防事業について、これまでの3年間の取り組み成果と課題を問う。</p> <p>③ 今後予定されている認知症施策や生活支援体制整備等について、進捗状況と取り組みを問う。</p> <p>積み立てた基金 58,535,820 円はどの様にされるのか。</p>	
4. 中学生の通学カバンについて	<p>中学生の通学カバンが重過ぎる。「如何にかならないか」という声が寄せられる。</p> <p>「脱ゆとり教育」の流れで教科書が厚みを増したのが最大の要因で、教科書の総ページ数は16年度に4,182 頁と、02年度の2,711 頁と比べて54.3%増加。写真や図版を豊富に載せるために紙質も向上し、重みが増す。さらに、学校の判断で購入する資料集などの副教材も、主流がA5判から雑誌サイズのA4判にワイド化している。こうしたことで、徒歩通学の生徒は、通学カバンと補助バッグ（ナップサック）を合わせて10kg以上の大変重い荷物を毎日持ち歩くこととなり、荷物が重過ぎる。少しでも軽くできないだろうかという生徒も保護者も訴えている。</p> <p>某市の中学2年生は、自宅から1.5km。総重量8.5kgの通学カバンを背負い、手に5.5kgの補助バッグを提げ、片道30分を歩いて通う。部活動の道具なども入れる補助バッグの持ち手は、重みでちぎれかかっている。</p> <p>身長159cm、体重47kg。中学生として体格が小さいわけではない。ただ、荷物は体重の3分の1に相当する。腰や背中に痛みを感じ、5月の定期健診では「脊柱変形の疑い」と診断された。保護者は「猫背気味でもあり、成長への影響が心配。少しでも軽くできないだろうか」と案じている。そこで、教育長に次のことを尋ねる。</p> <p>① 必要な勉強道具だけを持ち歩くようにできないか。</p> <p>② 2kg未満の自転車通学を希望者には許可できないか。</p> <p>③ カート等の利用の検討はできないか。</p> <p>④ 教科書、副教材、辞書等のデジタル化はどの様になっているか。</p>	教育長

質問者2 木本 睦博

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 総合特区について	この総合特区は、2市1町を対象として地域の農業生産の構造的な問題を改革し全国のモデルとなる農業生産構造を確立しようとするもので平成24年11月に認定されているが平成30年度新たな特区計画または解除に必要な書類を提出しなければいけないが解除するのか新たな計画を提出するのか尋ねる。	町長
2. 町長の進退について	町長は「住みよさ山口県一の町づくり」をモットーに財政再建・農業の再生・安心安全の町づくり等、重要課題をテーマに3期11年5ヶ月、町政を行われ、一定の評価はしているが、まだ今後は場整備、本庁舎の耐震補強工事、第2庁舎建設計画と重要課題が山積しており、又、町長もやり残した仕事も多くあると思うが10月実施予定の町長選挙に再出馬の予定があるのか尋ねる。	町長
3. ほ場整備について	平成23年から国営ほ場整備事業が行われている。しかし事業開始後入札不調や追加団地の参入等で工事終了が延びている。またこのたび計画変更が行われると聞いているが	町長

	<p>①計画変更の進捗状況並びに今後のスケジュール</p> <p>②変更後の受益面積、事業工期、事業費負担金について尋ねる。</p>	
--	--	--

質問者3 竹谷 和彦

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 田布施町の交通安全対策について	<p>最近、高齢者ドライバーによる重大事故が多発している。また昨年12月には町内で2件の通学途中の学生の死亡事故が起きている。今まで本町でも交通安全についての様々な対策を講じてきたと思うが、今後の交通安全に対する取り組みについてお尋ねする。</p> <p>1. 県道の拡張工事により今まで以上にスピードを出すクルマが多くなることが予想されるがその対応は？</p> <p>2. 危険な場所の交通標識等の追加措置や信号機の設置については？</p> <p>3. 天神の交差点の信号機が非常に見えにくい（平生向き）が対策は？</p>	町長 教育長
2. 町民の特殊詐欺被害防止の対応について	<p>今年になって自宅にまったく身に覚えのない訴訟に関する葉書が届いた。相手にしなかったが県内でこの葉書を真に受けて相手方に連絡した方が1,500万円だまし取られたという。山口県警によると今年に入り特殊詐欺の被害額は1月末までに5,443万円〔9件〕となり、高額被害が目立っているようだ。そこでお尋ねする。</p> <p>1. 町内での特殊詐欺の実態は？町民から行政に相談はあるか？相談があった場合の対応策はどうか？</p> <p>2. また、本人や家族でなければ知りえない住所（番地、名義）で太陽光発電の業者からいきなり土地を借りたいとか売ってほしいという手紙が送付されてきたが本町の個人情報の保護は大丈夫か？</p> <p>3. 先日、インターネット接続業者からの不適切な電話勧誘を受けたが町民から相談や苦情はあるか？</p>	町長

質問者4 國本 悦郎

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 住宅対策	<p>田布施町内には、1970年代の高度成長時代にできた団地があちこちにある。後継者がいない世帯では、このまま進行していくと程度のいい住宅が利活用されないまま放置され、ゴーストタウン化するのも後10年もかからないかもしれない。</p> <p>町営住宅建設も新たに低所得者用だけでなく、来るべく高齢化社会に対応する住宅確保も視野に入れなければならない。</p> <p>そこで、町営住宅の確保とこういった団地の程度のいい住宅の利活用をリンクさせてゴーストタウン化を防ぐという二面を解決するためにどうにかならないものかと思っている。</p> <p>町としてどういったように対応するのか5点お訊きしたい。</p> <p>1 田布施町内における1970年代にできた団地のここ2・3年の空き家の推移は</p> <p>2 団地内に住む高齢の独居者と夫婦二人家族の現状と今後の見通しの把</p>	町長

	<p>握は</p> <p>3 町営住宅の確保と団地内の程度のいい空き家とをリンクさせて提供する考えは</p> <p>4 人口減が進み、児童数が減ってきている城南地区への住宅確保は</p> <p>5 国交省が今年度導入を予定している団地の空き家対策の重点地区として、町内にあちこちにある団地の指定は</p>	
2. 教員の働き方改革	<p>教員の長時間勤務がようやく話題に上るようになってきた。</p> <p>中学校では、教諭全員が担当している部活動の負担が大きく、外部指導者やノー部活デーの導入も図られるようになってきているが、まだまだ課題も多い。</p> <p>そういった過酷な状況にある中で、精神疾患で休職したり、若年退職や教頭からの降格を望んでいる教員の増加を見聞きすることが多くなってきている。</p> <p>町独自に予算を付けて対応する面と、国及び県とタイアップして対応する面、そして予算化は伴わないが、通達などで対応する面など6点お訊きたい。</p> <p>1 田布施町の教員（管理職も含める）の週平均勤務時間数は</p> <p>2 勤務時間を把握するタイムレコーダー、勤務時間外の留守電、休業中や閉庁日の現時点での実施状況は</p> <p>3 町内の学校で、若年退職者のここ3年間の推移及び教頭からの降格希望は</p> <p>4 働き方改革を実施するにあたって、町独自に予算を付けて対応する面と、国及び県とタイアップして対応する面、そして予算化は伴わないが、通達などで対応する面は</p> <p>5 今後、学校現場で働き方改革を進めるにあたり、管理職の理解と全教員に徹底する方策は</p> <p>6 教員の勤務時間の削減と生徒の負担軽減のために、さらに土日を含むノー部活デーの拡充と外部指導者の導入は</p>	教育長

質問者5 松田 規久夫

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 田布施町の10年後を考えてみよう	<p>行政が提供する住民サービスには、一定の費用が伴う。町財政に余裕がなくても、提供する事業の廃止や、事業品質のレベルを下げるのは困難である。戦後のベビーブーマー団塊世代が全員75歳以上となるのは、10年待たず2024年で全国民の3人の1人が65歳以上となる。75歳以上は6人に1人となる超高齢社会である。急激な高齢化は重度の患者や要介護者の激増が生じる。具体的には、社会保障費の膨張、認知症患者の増加、高齢者向け住宅需要増、老老介護などの課題がある。人口の減少により、世の中の需要・供給、全てが縮む縮小社会となる。当然、町の収入は減少する。また、高齢者は納税額が少ないので、更に収入は少なくなる。町が維持管理しなければならないエリア、橋、道路、公共建物、町職員も人口減少に比例して縮小すれば、深く考える必要がないかもしれない。今の田布施町は手をこまねいていれば、穴の開いた沈みつつある田布施丸に腕を組み乗っている状態と私には思えるので、以下の質問をする。</p> <p>①社会保障費の将来の膨張に備え、具体的な施策は</p> <p>②認知症患者を含む要介護者の激増に、受け入れ施設や介護職員の確保は</p>	町長

	<p>③公共施設の更新需要が多数生じるが、更改計画と予算措置の見通しは</p> <p>④家庭では 50 代、60 代の女性が介護の担い手の中心と予想されるが、地域包括ケアシステムは機能するのか</p> <p>⑤高齢者向け住宅需要増への対応は</p> <p>⑥生活保護受給者の増加が想定されるが、対応は可能か</p> <p>⑦自主財源は減少するが、住民が納得する業務の提供は将来も可能か</p>	
2. 10 年待たず多数の空き家	<p>新しい家には子どもがいて、古い家には老夫婦や独居老人が暮らしているのが一般的だ。日本の現状は、65 歳以上の比率が 27.3%の断トツ 1 位の超高齢化社会だ。オリンピック 1 位の金メダルは誇れるが、長寿社会で誇れる面と将来に大きな費用負担が問題となる両面がある。田布施町全体の高齢化率は約 35%で、すでに 50%を超え限界集落可能性の行政区もある。田布施町には 3 世代同居、近居の支援策があるが、高齢者との同居率は低いと思う。若い同居人が無ければ、老夫婦、独居老人、空き家の流れとなる。高齢者の住む古い家は、空き家の予備軍と言える。2033 年、住宅の 3 戸に 1 戸が空き家になる。社人研の推計では、総世帯数は 2019 年 5307 万世帯でピーク。野村総合研究所の試算では、2033 年総住宅数は 7126 万戸、空き家数は 2167 万戸、空き家率は 30.4%となる。田布施町の空き家の現状と将来予想をお尋ねする。また、限界集落についてはどうか。10 年待たずに空き家バンクで対応できない多数の空き家が、短期間で発生しそうだ。そこで提案だが、町の中心部で条件の良い物件は、町に寄付してもらってはどうか。購入希望者に安価に売却提供すれば、地域の活性化に繋がる。空き家の相続人は維持、管理しなければならない負の資産の解消になる。</p>	町長
3. 安全な通学路を	<p>昨年、熊毛南高校と田布施中学校の生徒が交通事故で亡くなるという、あつてはならない重大な事案が発生した。自宅と学校を往復する通学路は、安全な道幅の広い歩道、自転車道が望まれる。通学路で狭い歩道の改善が早急な対策として、安心・安全な町づくりの視点からも必要である。小学校区、中学校区において、通学時、道路状況により生徒に安全指導している箇所はどれくらいあるのか。その危険個所の改善見込みは。学校による交通事故防止の生徒指導で、生徒に「自分の命は自分で守る」の意識づけが必要と思う。また、通学路の環境整備も事故防止対策の大きな要素である。田布施町に立地する唯一の高校、田布施農工高の生徒が JR を利用し、駅から高校まで豆尾踏切を渡り徒歩通学している。田布施中生徒も学校のルールを良く守り、踏切は自転車を押して渡っている。事故防止の観点から、早期の踏切改良と周辺道路整備の進捗状況をお尋ねする。</p>	町長 教育長

質問者 6 河内 賀寿

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 防災無線もっと増やせないか	<p>台風や火事の情報などを伝える防災無線は大事なものである。ただ放送を一語一句正確に聞き取れるかという、そうでもない場合も多いようだ。スピーカーを直接目視できれば、放送も直接耳に入るので、ほぼ聞き取れると思う。しかし、家を締め切っていたり、他人の家や塀が間に入ると音が反射し、聞きづらくなる。勿論、各自の耳の良し悪しもあるので、町民全員がというのは不可能だろうが、防災無線の数をもっと増やせば、多くの人が聞き取りやすくなると思うがどうだろうか。</p>	町長

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 光通信網の整備はどうなったか	<p>町は地方創生の一環として光通信網整備をあげたが、中々広がらない。大波野地区（40軒）は平成27年10月28日に光ファイバー網早期整備の要望書を提出したがその後どうなったか。</p> <p>今や、光通信は若い世代にとって必要不可欠で、有るところへ転出してしまう可能性もある。人口増加の為に町内早期光通信網整備をしてはどうか。</p>	町長
2. 子ども子育て条例について	<p>子どもを取り巻く環境はめまぐるしく変化している。コミュニティ・スクールは学校教育課、地域協育ネットは社会教育課、放課後子ども教室は社会教育課、放課後児童クラブ、認定子ども園は町民福祉課が行っている。子ども会も本来自治会組織であるが勝手に脱会するところも増えている。まとめるためにも「子ども課」を作って統一してはどうか。山口市は昨年、議員提案で「子ども子育て条例」を作った。全ての子どもが健やかに育つことができる地域社会の実現を基本理念に掲げ、</p> <p>(1) 市は子ども・子育て支援の施策を総合的、計画的に推進する</p> <p>(2) 保護者や学校、市民らは子どもが心身ともに健やかに育つよう努めたり、支援したりすることなどを求めている。町も「子ども子育て支援法」はあるが地域の役割を徹底するためにも条例を作ってはどうか。</p>	町長 教育長